

知財様式 2

平成 年 月 日

国立研究開発法人科学技術振興機構
分任研究契約担当者 殿

(機関名)

(部署・職名)

(氏名)

役職印

《契約担当者、または知的財産権について出願・譲渡等の権限を持つ者》

知的財産権実施通知書

委託研究の成果に係る知的財産権の実施について、以下のとおり通知します。

1. 委託研究の概要

事業・研究タイプ・研究領域	戦略的創造研究推進事業・CREST・〇〇に向けた△△技術の創出 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）・革新的燃焼技術 等と記載してください。
研究題目・契約番号	
研究担当者及び所属・職名 (研究実施当時)	
研究期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

※ 「契約番号」は、直近のものを記入。契約番号が付与されていない契約は不要。

2. 対象となる知的財産権について

知的財産権の種類	特許権、実用新案権、意匠権、回路配置利用権、育成者権、著作権 のうち、該当するものを記載してください。
発明等の名称	該当する(1)～(4)の事項を記入してください。 (1) 発明、考案又は意匠については、当該発明、考案、意匠に係る物品の名称 (2) 回路配置については、回路配置を用いて製造した半導体集積回路の名称及び当該半 導体集積回路の分類（構造、技術、機能） (3) 植物体の品種にあつては、農林水産植物の種類（属、種、亜種）、出願品種の名称 (4) 著作権にあつては、著作物の名称
設定登録番号又は出願番号等	当該種類に係る設定登録番号、設定登録の出願又は申請番号もしくは著作物の 登録番号又は管理番号を記載してください。 例) 特願 2016-001234

3. 実施等について

実施（注1）	自己、第三者*（通常実施権・専用実施権等）
特記事項（注2）	産業技術力強化法施行令第11条第3号に該当する専用実施権等の設定等の場 合における事前申請の例外となった根拠や実施の状況の変化（実施を中止した 場合等）について記載してください。 ※戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）については、第三者に対し、

	通常実施権の許諾及び専用実施権等の設定等をしようとするときは、例外なく知財様式4による事前申請が必要となるため注意。
--	--

* 第三者は実施許諾した場合

(注意事項)

(注1) 自己又は第三者のいずれかを○で囲んでください。

(注2) 産業技術力強化法施行令第11条第3号に該当する専用実施権等の設定等における事前申請の例外となった根拠や実施の状況の変化(実施を中止した場合等)について記載してください。

《制度固有の取扱い①: SIP【共通】》

- ・戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)については、第三者に対し、通常実施権の許諾及び専用実施権等の設定等をしようとするときは、産業技術力強化法施行令第11条第3号に該当する場合であっても例外なく知財様式4による事前申請が必要となります。

《制度固有の取扱い②: SIP【革新的燃焼技術】》

- ・AICE共有特許におけるAICE組合員の自己実施については、特記事項に、その旨および当該AICE組合員の名称を記載してください。